

「高齢者大学校あかねが丘学園」(明石市)

課題（状況）

- ・高齢者が地域の中で自ら学ぶことの喜びを見出し、充実した老後の生きがいをつくりだし、連携の輪を広げ、地域づくりへの参加を促す仕組みを創出することが必要となっている

目標（数値）

- ・自らの知識や経験を活かすことや新たな知識を学び、地域社会で楽しく、生きがいを持って活動できるよう高齢者を支援する
- ・地域社会活動の指導者を育成する

具体的取組

- ①・3年間のカリキュラムの中で活動グループを育てる（専攻コースで地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりの知識と技術を学び、最終年度は企画、準備、実践を試行、活動実績を積むことで円滑に地域社会活動への参加が可能となるよう工夫している）
- ・多数の卒業生グループを支援（「地域活動支援日」を定め、卒業生を対象に活動に役立つ講座の開講、施設・設備の貸出を実施）
- ③運営・維持（除く人件費） 約5,000万円
- ⑥・地域社会活動への積極的参加を促し、地域貢献活動を実践する学習カリキュラムとしたことで魅力となっている
- ・在学中から小グループでの地域社会活動に取組むことで密なコミュニケーションが可能となり、グループ形成を後押ししている

・趣味・知識習得型のカリキュラムでは地域社会活動への参加・貢献が意識されない状況にあった

規制・環境

・趣味・知識習得から地域活動の企画力やコーディネート力などを実践する地域貢献型カリキュラムとした

解決

明石市プロジェクト

- ①プログラム（行動）
- ②スケジュール
- ③予算
- ④専門人材
- ⑤推進・運用組織
- ⑥成功要件

地域資源 人材

支援政策 協力者

产学連携 技術

神戸大学松前教授
(「あかねが丘運営
協議会」メンバー)

特になし

- ・地域活動を実践している卒業生など（講師で招き活動の実際を見せる）
- ・阪神間の大学・NPOで活躍している方々

結果（数値）

- ①在学者の堅調な推移とボランティアセンター登録者・団体数の増加

平成26年度 24年度

登録グループ数 94 80

所属延べ人数 1424 1230

- ②地域活動に縁遠い男性の活動支援に効果
- ③地域社会活動のリーダーが養成される

地域の変化

- ・あかねが丘学園卒業生の地域活動については、市民への認知度も高まっている。
- ・市内各地域の施設や市主催のイベントなどからの参加要請が年々増えてきているほか、定例化して実施するものも出てきている。

残る課題

- ・増加する活動の支援を限られた予算、人員のもとに実施するため、他部署・組織との連携などを一層進めていく（市kミユニティ担当部局や社会福祉協議会など）
- ・活動の増加に伴う施設や設備の不足

次の行動

- ・「あかねボランティアセンターの充実
- ・複数のグループでの連携による活動・体制の充実